

温室効果ガス排出量 検証報告書

2023年9月29日

中部鋼鉄株式会社 御中

一般社団法人日本能率協会
地球温暖化対策センター
上級経営管理者 平川 雅宏



1. 検証の対象及び目的

中部鋼鉄株式会社（以下「事業者」という。）が作成した算定対象^{*1}における排出量算定結果「2021年度、2022年度 GHG 排出量算定報告書」（以下「算定報告書」という。）に記載の2021年度、2022年度（2021年4月1日から2023年3月31日まで）の以下の温室効果ガス（GHG）排出量情報に関して、事業者は、一般社団法人日本能率協会 地球温暖化対策センター（以下「当協会」という。）に対し、限定的保証を目的とした検証を依頼した。

1) スコープ3 温室効果ガス排出量

事業者の事業活動におけるスコープ3 カテゴリ 1, 2, 4, 5, 6, 7^{*2}において排出される CO₂ 排出量

検証の目的は、算定方法^{*3}に従って、正確に測定、算出されているかについて、独立の立場から結論を表明することである。算定報告書を作成し GHG 排出量情報を報告する責任は事業者にあり、当協会の責任は、独立の立場から算定報告書に記載された GHG 排出量情報に対する結論を表明することにある。

2. 検証手続き

当協会は、ISO14064-3:2019 (Greenhouse gases - Part 3: Specification with guidance for the verification and validation of greenhouse gas statements)の要求事項に従って検証を実施し、以下の事項を実施した。

- 算定報告書に記載の GHG 排出量を決定するために用いられた情報に関する、算定方法、排出量算定システム、及び、関連資料の確認
- 算定報告書の作成に関わる主な担当者へのインタビュー
- GHG 排出量の正確性を確認するためにサンプリングによる根拠となる資料の確認

3. 検証の結論

算定報告書に記載された 2021 年度、2022 年度の温室効果ガス排出量情報は、算定方法に従って、すべての重要な点において正確に測定、算出されていないと認められるような事項は発見されなかった。

検証された温室効果ガス排出量 (t-CO ₂ e)		
	2021 年度	2022 年度
スコープ 3	183,120	185,994
スコープ 3 内訳		
カテゴリ 1	160,572	161,688
カテゴリ 2	4,929	6,536
カテゴリ 4	15,933	16,087
カテゴリ 5	1,528	1,521
カテゴリ 6	46	47
カテゴリ 7	112	115

NOTE:

※1：算定対象

本社・製造所、東京営業所、大阪営業所

※2：スコープ 3 のカテゴリ 1, 2, 4, 5, 6, 7

- カテゴリ 1 (購入した製品・サービス)：購入した原料・資材などを対象
- カテゴリ 2 (資本財)：購入・取得した資本財 (設備、機器、建物、車両、ソフトウェア等) を対象
- カテゴリ 4 (輸送、配送 (上流))：(原料・資材・製品の) 国内・海外の陸上、海上輸送、及び、国内鉄道輸送を対象
- カテゴリ 5 (事業から出る廃棄物)：算定対象から出る産業廃棄物、本社・製造所の一般廃棄物を対象
- カテゴリ 6 (出張)：事業者の従業員を対象
- カテゴリ 7 (雇用者の通勤)：事業者の従業員を対象

※3：スコープ 3 の算定方法

「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン (ver.2.5)」、 「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース (ver.3.3)」、及び、事業者が作成した「CO₂ 排出量算定手順」

以上